

コフロック

オイルフリーコンプレッサ ー内蔵窒素PSAに屋外仕 様を追加

コフロック（京都府京田辺市、小島望社長）は2.2～7.5kWオイルフリーコンプレッサー内蔵窒素ガス発生装置シリーズに屋外型モデルを新たに追加した。4月から受注活動を開始しており、既に2件受注している。

新たに屋外モデルを追加したPSA、『N₂ IMPACT II』はコンプレッサー圧縮部にオイルを使っておらず、工場内へのオイル持ち込みを嫌う食品製造ラインなどを中心に導入実績がある。これま

で屋内仕様のみだったが、工場スペースの有効活用、温暖化による機械室等の設置場所の温度環境改善を目的に、新たに屋外型仕様を追加した。24年夏に評価を完了しており、1年かけて屋外設置環境での稼働検証を行った。

同社船井厚志フローシステム事業部長は「18年に発売した屋外設置型PSAのGENE・BASEシリーズは受注台数が150台を超え、屋外設置型に一定の需要があることが確認できた。7.5kW以下のシリーズでも、ユーザーより屋外仕様の要望があり、同クラスで需要の多い食品業界に対応する為、オイルフリーコンプレッサーを採用する機種で追加を行った。食品工場の他、分析用途にも販売していきたい」とする。

仕様は2.2kW、3.7kW、5.5kW、7.5kWの4種類。通期屋根構造により直射日光を受けた40℃条件下で運転可能で、冬場でもドレイン凍結防止用ヒー

ター搭載で凍結を予防する。初年度販売目標台数は20台としている。



屋外仕様を追加した
『N₂ IMPACT II』